

福島第一原子力発電所の状況

2015年5月25日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/25 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h	21.4	0.4 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.4 m ³ /h	28.1	3.59 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m ³ /h	24.8	0.25 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.1 m ³ /h			B系： 0.04 vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/25 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.5
2号機	循環冷却システム	運転中	21.8
3号機	循環冷却システム	運転中	20.0
4号機	循環冷却システム	運転中	19.5

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドراجンの注入を適宜実施。

[2号機]・5/26～5/28 計装品の点検を行うため、冷却系を約60時間停止予定。なお、プール水温度は5/25 11時現在で21.8 であり、プール水温度上昇率は0.139 /時、停止中のプール水温度上昇は最大で約9 と評価しており、運転上の制限値65 に対して余裕があることから、プール水温度管理上問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/19 15:53 ~ 5/24 10:07 移送実施
		3号機タービン建屋地下	5/24 11:08 ~ 5/25 9:40 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/19 15:40 ~ 5/24 10:01 移送実施
	3号機廃棄物 地下貯蔵設 備建屋 (原子炉冷却 材浄化系廃 樹脂貯蔵タン クエリア、廃ス ラッジ貯蔵タ ンクエリア)	3号機廃棄物処理建屋	5/25 12:28 ~ 移送実施中

本移送は3号機廃棄物処理建屋滞留水の水位を確認しながら、計画的(断続的)に実施していく。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/25 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

- 5/24 23:18 点検手入れおよび性能向上のための改造準備工事を行うため、多核種除去設備全システムを停止。なお、点検はA・Cシステムを先行して行い、Bシステムは点検に伴い発生する排水やタンクレベル低以下のRO濃縮水の残水等の処理を行うため待機状態とし、A・Cシステム終了後に点検を行う。

< 5. その他 >

- 2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2号放水路上流側立坑については、全ベータ放射能およびトリチウム濃度の上昇を受け、1回/日のモニタリングを実施していたが、5/22まで全ベータ放射能およびトリチウム濃度がともに低下、安定していることから、5/23より測定頻度を3回/週(1号機放水路立坑と同様)とし、モニタリングを継続する。

- ボックスカルバート内に収納されている高性能容器(HIC)からの水の滴下について、セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されているHIC(全数683基)の点検(水溜まりの確認)を行っているが、新たに6基で水溜まり等を確認。5/20現在、267基の点検を完了しているが、これまでに合計26基で水溜まり等を確認。

【新たに水溜まりを確認したHIC】 【製造番号】

- ・O6ボックスカルバート内HIC 625899 - 171
- ・E6ボックスカルバート内HIC PO641180 - 160
- ・V5ボックスカルバート内HIC 625899 - 084
- ・T6ボックスカルバート内HIC 625899 - 232
- ・R5ボックスカルバート内HIC 625899 - 345
- ・T7ボックスカルバート内HIC 625899 - 356

引き続き、残りのHICについて点検を行っていく。

なお、これまでの点検でHIC蓋にベント孔がないHICが1基(製造番号:PO625899 - 243)確認された。現在使用しているHICのうち、2014/6以前に製造メーカーより受領した334基のHIC(当該HICを含む)については、受領時にベント孔の検査を実施していなかったことから、当該HIC以外の残りのHICについても、今後速やかに点検を実施し、ベント孔の有無を確認する。なお、2014/6以降に受領したHICについては、受領時にベント孔の検査を実施している。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。
- 5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- 屋根パネル(計6枚)の取り外し作業を5/26頃から開始することとしていたが、原子炉建屋3階機器ハッチ開口部に設置したバルーンが、所定の位置に設置されていないことが確認され、復旧に時間を要することから、屋根パネルの取り外し作業を延期する。なお、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動は確認されていない。
建屋カバー解体作業に伴う放射性物質放出抑制対策として、開口部の面積を小さくすることで放射性物質の放出量を抑える(少なくする)ことを目的に設置。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】2015/2/24 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【3号機】2015/5/2 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【4号機】2015/4/15 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日 5/14]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。5/25 10:08より海洋への排水を開始。同日 10:26に漏えい等の異常がないことを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・H4エリアタンク周辺測定点E - 9の全ベータの上昇について、全ベータ放射能が 20,000Bq/L(5/20 採取)から 13,000 Bq/L(5/22 採取)に低下していることを確認。今後も監視を継続していく。
- ・その他、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上